枯れ松で炭を焼いてます

関口英樹
地域おこし協力隊

Q どうして炭を焼いているの？

A 松くい虫被害で枯れた東松島の松を活用する試みです。

Q 枯れ松はどのように処理されているの？

A おおまかに3つのパターンがあります。

- 市内処理 → 薬を散布し燻蒸 → 害虫駆除 → ① 放置
- 市外処理 → ヘリやトラックで運搬 → ② チップ等に加工 / ③ 廃棄処分

Q 枯れ松で炭を焼くことで課題は解決できるの？

A 環境に配慮すること、市内で経済を循環させること。課題解決のための一つの手段だと思います。

※ただし、もともとは森保全の会が行っていた事業を個人で引き継いでいるので、本当に微力な貢献ではあります。

Q その処理はダメなの？

A ダメ、というよりは課題です。東松島のため、自然環境のために改善の余地はあるのかな、と。

資源のムダ	CO2の排出	資金流出
枯れ松を廃棄物として扱うこと	市外搬出によるガソリン等の使用	処理経費の流出 / 活用によって得られる収入のロス

Q 炭はどうやって作るの？

1. 木を切り
2. 薪を割り
3. 炭窯に入れ
4. 鉄板のふたをして土を被せ
5. 火を焚き窯に熱を送り
6. 火を消して1日放置
7. 泥で全ての穴をふさぎ密閉
8. また数日放置
9. また数日放置
10. 土をはらい鉄板のふたを外し
11. 炭を窯から出してハケで煤をはらい
12. 完成!!

※ちなみに炭のカスは農地の土壌改良材として使用できます

Q できた炭はどう使っているの？

A 時と場合で様々ですが、主に地域のイベントなどに使ってもらっています。宮野森小学校の枯れ松で作った炭に関しては、学校行事用に全て小学校にお渡しします。

Q 松炭はどういう炭なの？

A
1. 火がつきやすい!!（BBQにはぴったり）
2. 火の温度が黒炭の中で一番高い!!
3. 脱臭作用がある!
4. 湿度調節機能がある!

※3、4は炭全般にいえます